

日差しを浴びて黄金色に輝く花…
イソギクが晩秋の園内に彩りを添えます。



2011年11月15日撮影

ひたち海浜公園ではイソギクが開花してきました。イソギクは花びらの無い黄金色の小花が固まって咲き、属名の「*chrysos anthemum*」は、「金の花」というラテン語に由来します。

本県での生育記録がありましたが、現在は自生が確認されておらず、茨城県レッドデータブックで絶滅種に指定された植物です。当園では貴重な砂丘や海浜植物を保全する公園ボランティア『野生植物パートナー』により、イソギク等の保護・育成を行っています。

イソギクは園内各所で開花致しますので、花の少ない時期ではありますが、日差しを浴びて黄金色に輝くその姿をご覧になりながら、園内散策をお楽しみいただければ幸いです。

また、みはらしの里では「ソバの脱穀体験」や「古民昔語り」など、昔の暮らしを体験するイベントを開催しますので、こちらも合わせてお楽しみください。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報宣伝チーム 青木・服部・和光

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

ただいま見頃です！
11月下旬まで開花予定

イソギク

キク科キク属／多年草／原産地：日本

イソギクは本州の千葉県以南の太平洋側に分布し、海岸の岩石地や崖などに群生する20～40cmの多年草です。

イソギクの名は、“磯に生える菊”ということから付きました。

葉の表面が濃い緑色、裏面が銀白色というコントラストが美しく、花びらのない鮮やかな黄色い筒状の花が密にかたまって咲きます。

イソギクは海浜部に自生しますが、当公園では右・下記にてその花をお楽しみいただくことができます。



砂丘エリア「海浜テラス付近」

自生地である崖を思わせる岩間の間に咲く風情をお楽しみいただけます。



砂丘エリア「グリーン工房付近」

イングリッシュガーデンを思わせる小路をゆったり散策してみても、紺碧の海も見えます。



「記念の森レストハウス」前

日当たりのよい斜面に咲いています。階段の上からは、噴水や翼のゲートが見えます。



サイクリングコース「常陸野サークル付近」

『野生植物パートナー』さんが挿し芽を行って増やしています。



「はまかぜ橋」付近

サイクリングで爽やかな風を感じながら、イソギクを鑑賞できます。

みはらしの里で里山体験！

江戸時代の古民家を移築したみはらしの里で、当時の暮らしを感じながら、里山体験をお楽しみください。

昔の農機具を使って、みはらしの里の畑で採れたソバの脱穀を体験します。参加された方には、ソバの実をプレゼントします。

- 日 時：11/19（土） 10時半～15時
- 場 所：みはらしの里
- 定 員：先着100名（当日申込み）
- 参加費：無料



囲炉裏を囲みながら民話や昔話に耳を傾けてみませんか。タイムスリップしたような懐かしい時を楽しむことができます。

- 日 時：11/20（日）
11時～12時、13時半～14時半
- 場 所：古民家
- 定 員：先着50名（当日申込み）
- 参加費：無料



みはらしの里収穫祭

里芋洗いを体験して、みはらしの里パートナーがかまどで芋煮を作ります。出来がった芋煮を試食します。

- 日 時：11/23（水）
11時～（※10時半より整理券を配布）
- 場 所：古民家
- 定 員：先着50名（当日申込み）
- 参加費：100円



祭

みはらしの里の畑で採れたソバ粉を使用したソバを辛み大根で召し上がっていただきます。使用する大根もみはらしの里で採れたものです。

- 日 時：12/4（日）
11時～（※10時半より予約券を発売）
- 場 所：里の家
- 定 員：先着60名（当日申込み）
- 参加費：200円



